

会社概要 / 株主メモ

Corporate Profile / Shareholders' Memo

■会社概要

商号	： ころネット株式会社
発足	： 2006年4月 [当社の前身である(有)菅野石材工業の設立は1966年3月]
所在地	： 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
代表者	： 代表取締役会長 菅野 松一 代表取締役社長 齋藤 高紀
資本金	： 5億65万円
決算日	： 3月31日
従業員数	： グループ:522名 [外、臨時従業員12名] 単体:34名
事業内容	： グループ運営にかかる経営戦略企画、業績管理、 不動産管理、総務・経理・人事等の管理

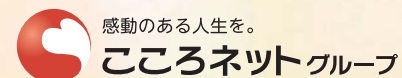
■役員

代表取締役会長	菅野 松一
代表取締役社長	齋藤 高紀
常務取締役	安斎 紀之
取締役	玉木 康夫
取締役	羽田 和徳
常勤監査役	齋藤 信男
監査役	武藤 正隆
監査役	大出 隆秀

■株主メモ

(2012年9月30日現在)

上場市場	： 大阪証券取引所ジャスダック市場
上場日	： 2012年4月25日
証券コード	： 6060
事業年度	： 4月1日から3月31日まで
定時株主総会	： 6月中
株主確定基準日	： 3月31日
剰余金の配当の基準日	： 3月31日、9月30日
株式の売買単位	： 100株
公告掲載方法	： 電子公告の方法により行います。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告 による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載を行います。 電子公告掲載URL: http://cocolonet.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	： 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	： 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)
各種事務手続き	： 詳しくは、三菱UFJ信託銀行のHPページ にてご確認ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/



株主の皆様へ

2013年3月期 第2四半期のご報告



ころネット株式会社
〒960-0102 福島県福島市鎌田字舟戸前15番地1
TEL 024-573-6556 FAX 024-573-6560 HP <http://cocolonet.jp/>



※ 環境に配慮して再生紙と植物由来のインクを使用しています。

証券コード 6060

ころネット株式会社



代表取締役社長
齋藤 高紀

代表取締役会長
菅野 松一

会長略歴

1956年 3月 菅野石材店(当社前身)勤務
 1966年 3月 (有)菅野石材工業(1971年12月 菅野石材工業(株)に組織変更)を設立。代表取締役社長
 2005年11月 冠婚葬祭の企業グループ「アイトゥアイ・グループ」と経営統合
 2006年 4月 カンノ・コーポレーション(株)をこころネット(株)に社名変更し、こころネットグループを発足。代表取締役社長
 2012年 6月 こころネット(株) 代表取締役会長

<現役職> こころネット(株) 代表取締役会長
 (株)たまのや 取締役会長
 (株)サンストーン 取締役
 (株)ハートライン 取締役

社長略歴

1970年 4月 北海道東北開発公庫(現 (株)日本政策投資銀行)入庫
 1992年 6月 (株)たまのや 代表取締役副社長
 1995年11月 (株)たまのや 代表取締役社長
 2005年11月 石材業のカンノ・グループと経営統合し、カンノ・コーポレーション(株) 代表取締役副社長
 2012年 6月 こころネット(株) 代表取締役社長

<現役職> こころネット(株) 代表取締役社長
 カンノ・トレーディング(株) 取締役会長
 石のカンノ(株) 取締役
 (株)サンストーン 取締役
 (株)ハートライン 取締役会長

当社、こころネット株式会社は、
 本年4月25日、
 大阪証券取引所ジャスダック市場に
 株式を上場いたしました。
 これからは、次なる成長に向けて
 挑戦を開始いたします。

ごあいさつ

当社グループは、長年の歴史を持つ冠婚葬祭業の「アイトゥアイ・グループ」と石材業を中心に事業を発展させてまいりました「カンノ・グループ」が経営統合を行い2005年に誕生いたしました。

婚礼・葬祭から石材まで幅広い事業を営む当社グループは、「人々のこころに満足と安らぎをもたらすサービスを提供する」を企業理念に掲げ、サービス・品質の向上に真摯に取り組んでおります。

こころネットグループは、次なる成長に向けて挑戦を開始するとともに、地元福島県を中心にした災害の復興に努め、新たなステージを築き上げてまいります。

株主の皆様には、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

進取の気概をもって、チャレンジしてまいります。

Q.1 株式を上場して何か変化はありましたか？

この度の株式上場において、グループ内の体制整備を進めた結果、一本「芯」が通った感じがします。特に、社員の待遇や管理体制の整備を進めた結果、「社員満足」を追求することができました。当社は人々の心をつなぐサービスを展開しておりますので、社員＝人財が最大の資産です。社員満足度の向上がお客様の満足度向上につながることから、これは大きな成果となりました。

グループ理念

私たちは、人々の「こころ」に満足と安らぎをもたらすサービスを提供いたします。

Q.2 社長の経営方針についてお聞かせください。

当社は2005年の経営統合以来、株式上場を一つの目標として活動してまいりました。今年、この目標を完遂したことを受け、新たなステージでの更なる成長をより確かなものにしていくために、経営陣の強化、若返りを図る一環として、私が社長に就任しました。

今後の経営方針につきましては、当社グループが持ち続けてまいりました、「精神」や「企業風土」を大切に、安定的で持続可能な経営を旨としてまいります。

進取の気概

当社グループには、新しいことに挑戦していくスピリッツがみなぎっております。今行っている事業をそのまま展開するだけではなく、絶えず新しいものに挑戦し続ける、これが当社グループの「進取の気概」です。

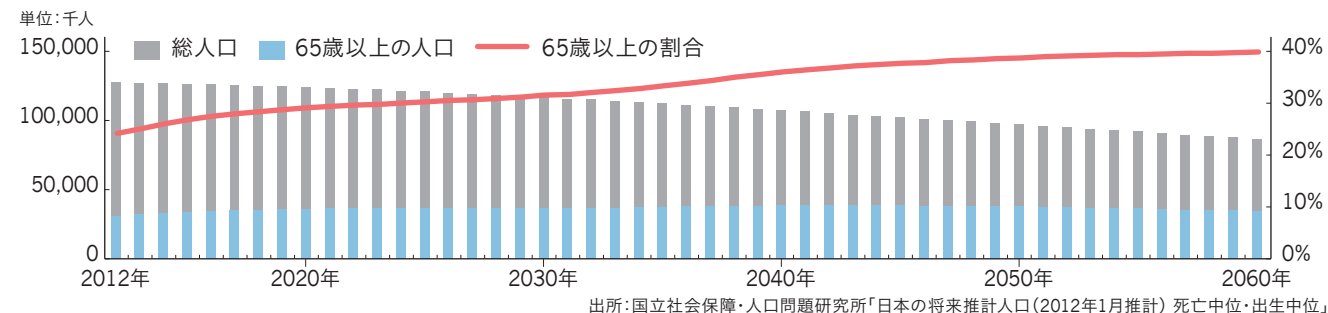
持続的、安定的成長を礎に新事業も展開

Q.3 現在の経営環境は、どのように認識していますか。

中長期的に大きな影響を及ぼすと思われるのが、国内の人口動態です。現在日本は少子高齢化が進んでおり、葬祭事業が拡大する一方で、婚礼事業等が縮小するのでは、との懸念が持たれております。しかしながら、全体の市場規模は、当社の売上高規模に対して莫大であり、当社グループの成長余力は大きいものと確信しております。

また、婚礼をはじめ、葬儀・墓石に至るまで、「個」の時代に入っており、お客様それぞれの嗜好にお応えすることが不可欠になってきております。業界内においては、熾烈な競争が行われておりますが、「お客様志向」のビジネスモデルをいち早く確立することで大きなチャンスを掴める可能性が広がっていると感じております。

■人口動態予想



Q.4 当第2四半期の業績はいかがでしたか。

連結業績につきましては、石材卸売事業および婚礼事業が好調に推移し、コスト削減等による損益改善に注力した結果、売上高、営業利益、経常利益は期初の予想を上回る結果となりました。しかしながら、四半期純利益につきましては、総合結婚式場の閉鎖に伴う減損損失等を計上したため、期初の予想を下回る222百万円となりました。

■業績概況

単位:百万円

	2012/9 (当第2四半期累計)	2013/3 (当通期計画)
売上高	5,542	10,667
営業利益	588	947
経常利益	636	995
四半期(当期)純利益	222	597

Q.5 今後の戦略・施策について説明をお願いします。

短期的な戦略としましては、着実な業績向上を目指し、また多様化するお客様のニーズにお応えすべく、「福島県内のドミナント化の推進」「新商品・サービスの開発」「既存事業の拡充」を図ってまいります。また、中長期的な戦略としましては、更なる業容拡大を目指し、「営業エリアの拡大」「友好的なM&Aの推進」「新規事業への進出」を進めてまいります。

ロゴマークの意味



当社のロゴは、ハートと球体を組み合わせた形になっています。ハートはココロネットのサービス精神と、人生の節目に訪れる喜怒哀楽を象徴しています。また、球体はココロネットとお客様の一体感、企業グループとしての一体感を表しています。赤い球体を包み込むハートには、ココロネットのサービスによって生み出される感動が日本から世界へ広がりますようにとの願いをこめています。

Q.6 最後に株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社グループは、葬儀会館・婚礼会場等多くのハードを持っております。しかしながら、お客様にご提供しているものは、サービスでありソフトです。心のこもったサービスには人が大切であり、人を大切にされた経営が当社グループの基本です。社員の満足がお客様の満足につながり、更なる事業拡大へとつながる「持続的で安定的な成長」これが当面のグループの基本方針です。

また、次なる成長に向けた投資や内部留保のバランスを図りながら、株主の皆様への安定的な配当を旨とした経営に努めてまいります。この主旨からも、当期1株あたり15円の中間配当を実施いたしました。

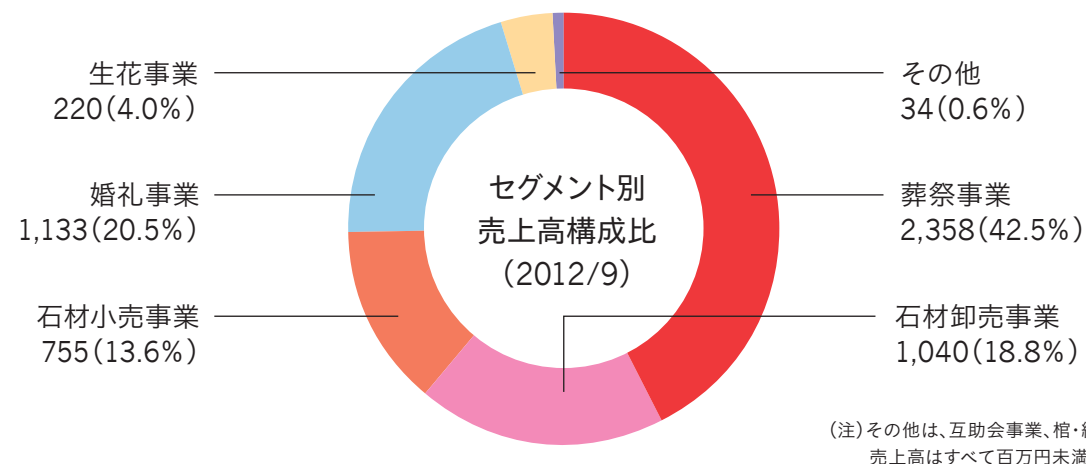
株主の皆様におかれましては、今後ともご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
齋藤 高紀

ライフサポートグループとして、 婚礼・葬祭から石材まで幅広い事業を展開

福島県を中心に冠婚葬祭用施設など22拠点を有し、
人々の人生の節目に様々なサービスを提供しています。



■主なグループ会社(連結子会社5社)

たまのや	葬祭事業	福島県内における葬祭に係る諸儀式および法宴の施行並びに附帯サービスの提供
カノン・トレーディング	石材卸売事業 生花事業	東日本を主な販売エリアとした石材の卸売 グループ内外向けの生花の卸売
石のカンノ	石材小売事業	福島県内、長野県東部で個人・法人向けの石材販売・工事 および関東圏を中心に個人向けの霊園斡旋・墓石販売
サンストーン	婚礼事業	福島県内における婚礼に係る諸儀式および宴会の施行並びに附帯サービスの提供
ハトライン	互助会事業	冠婚葬祭互助会の運営

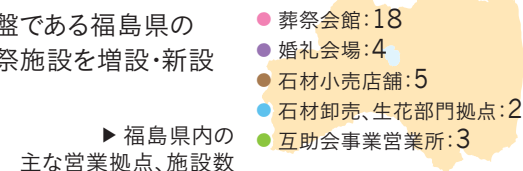
変化する市場に向けて短期・中長期での戦略・施策を展開

短期事業戦略

サービス品質の向上、既存ビジネスの深耕、
ドミナントエリアの強化などの
実現を図っていきます。

ドミナントエリアの深耕

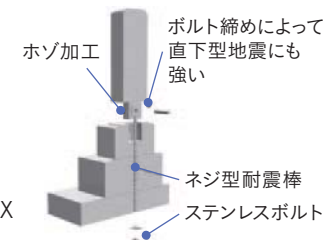
営業基盤である福島県の
冠婚葬祭施設を増設・新設



高付加価値商品、 新製品の開発強化

市場ニーズに応える
新製品・サービスの開発

▶ 耐震墓石MAX



既存事業の拡充

成長が期待される
「生花事業」の外部販売
を拡充



中長期戦略

トータルライフサポート企業として
お客様個人だけではなく、家族ぐるみでの
末永いお付き合いをしていきたいと考えます。

営業エリアの拡大

福島県から近隣県、
更には海外まで視野に
入れた営業エリアの拡大
を図ります。



友好的なM&Aの推進

友好的なM&Aを推進し、
業容拡大を図っていきます。



新規事業への進出

介護事業等新規分野へ
進出し、ライフサポートの
充実を図ります。



中長期の戦略を基に、 拠点・サービスの拡充を進めています。

当社グループは、顧客ニーズに合致するサービスの開発、営業基盤エリアのドミナント化を進める拠点整備、更には、業容拡大に向けた施設の新設など、次なる成長を目指した取り組みを積極的に実施しています。

葬祭会館を新設

葬祭事業のたまのや

4月1日に「福島西ホール」、10月1日に「喜多方メモリアルホール」をオープンし、福島県内のドミナント化を進めました。



福島県内で17番目の
葬祭会館
「福島西ホール」



福島県内で18番目の
葬祭会館
「喜多方メモリアルホール」

婚礼会場の再編

婚礼事業のサンストーン

会津地区の婚礼会場について、ゲストハウス型婚礼式場へ経営資源を集約することにしました。また、会津および郡山のゲストハウス型婚礼式場を増築・改装することにし、より多くのお客様にご利用いただけるようにします。



地域密着型企业として、地域とのつながりを大切に、 そして、復興支援にも取り組んでいます。

当社グループは、地域とともに発展したグループとして、地域とのつながり、地域への貢献を大切にしています。また、震災、原子力災害などの復興支援にもグループをあげて取り組む中で、当社内にCSR推進室を設け、グループ全体としての支援体制の強化も行っています。

各施設で「ふれあい感謝祭」を実施

葬祭事業のたまのやでは、地域に根ざす施設として、「ふれあい感謝祭」「内覧会」などを開催しています。会場では、地元ならではの催し物を数多く用意し、地域の皆様との交流を深めています。

当上半期の行事

- 4月7日、8日
福島西ホール オープン内覧会
- 7月21日
会津メモリアルホール ふれあい感謝祭
安積メモリアルホール ふれあい感謝祭
- 9月22日
飯坂斎苑 ふれあい感謝祭
- 9月29日、30日
喜多方メモリアルホール オープン内覧会



「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」に協賛

震災や原発事故により被災した子供たちが数多くいます。そんな未来を担う子供たちを救うという趣旨に賛同し、私たちは「ふくしま子ども寄附金」に香典返しの上金の一部を寄付することにしました。

「東日本大震災ふくしま子ども寄附金」事業の概要

- 対象者 東日本大震災により保護者が死亡または行方不明となった児童
- 支援内容 大学等卒業までの期間、生活及び修学を支援する
- 受付窓口 福島県 保健福祉部 児童家庭課

連結要約財務諸表

■連結貸借対照表(要旨)

	前期末 2012年3月31日現在	当第2四半期末 2012年9月30日現在
流動資産	3,641	3,735
現金及び預金	2,292	2,425
受取手形及び売掛金	744	831
商品及び製品	326	258
その他	277	219
固定資産	12,941	12,651
有形固定資産	9,209	8,850
無形固定資産	210	173
投資その他の資産	3,521	3,628
資産合計	16,583	16,386

■連結損益計算書(要旨)

	前通期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日
売上高	10,083	5,542
売上原価	6,668	3,650
売上総利益	3,414	1,892
販売費及び一般管理費	2,521	1,303
営業利益	892	588
営業外収益	196	90
営業外費用	126	42
経常利益	962	636
特別利益	93	328
特別損失	73	517
税金等調整前四半期(当期)純利益	981	447
法人税等合計	424	224
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	557	222
四半期(当期)純利益	557	222

単位:百万円

	前期末 2012年3月31日現在	当第2四半期末 2012年9月30日現在
流動負債	2,735	2,541
買掛金	363	357
短期借入金	680	470
1年以内返済予定の長期借入金	581	517
その他	1,110	1,197
固定負債	8,307	7,642
長期借入金	2,918	2,246
その他	5,388	5,396
負債合計	11,042	10,184
株主資本	5,526	6,201
資本金	256	500
資本剰余金	1,375	1,620
利益剰余金	3,894	4,080
その他の包括利益累計額	13	0
純資産合計	5,540	6,202
負債・純資産合計	16,583	16,386

■連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

	前通期 2011年4月1日～ 2012年3月31日	当第2四半期累計 2012年4月1日～ 2012年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,172	765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△425	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△527	△515
現金及び現金同等物の期首残高	956	1,131
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,131	1,368

■配当政策

当社グループは、企業の発展を通じて株主の皆様のご支援にお応えするために、適切な配当を安定的に行い、将来の事業展開と企業体質の強化のために必要な内部留保を確保して行くことを利益配分の基本方針といたしております。なお、2013年3月期の配当につきましては、1株当たり15円の間配当金を実施いたしました。また、1株当たりの年間配当につきましては、期末配当金15円と合わせ30円を予定しております。

Financial Statements

業績・財務コメント

■連結貸借対照表

- 現金及び預金
東京電力からの受取補償金等により約133百万円増加
- 固定資産
葬祭会館の新規オープンに伴い増加した一方、施設閉鎖に伴う減損損失の計上等により、約290百万円減少
- 流動負債
短期借入金の返済等により、約193百万円減少
- 固定負債
長期借入金の返済等により、約664百万円減少
- 純資産
増資および業績好調に伴う利益剰余金の増加により、約661百万円増加

■連結損益計算書

- 売上高
石材卸売事業および婚礼事業の業績好調
- 営業利益・経常利益
業績好調に伴い、営業利益・経常利益も好調
- 四半期純利益
業績好調に加え、東京電力からの受取補償金を計上するも、施設閉鎖に伴う減損損失の計上等により、当初の業績予想は下回る

■連結キャッシュ・フロー計算書

- 現金および現金同等物残高は増加
- 営業活動によるキャッシュ・フロー
業績好調に加え、減損損失等を計上したことにより、キャッシュ・フローは増加
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
株式発行による収入は、借入金の返済へ

株式の状況

Stock Info.

(2012年9月30日現在)

■株式の状況

発行可能株式総数	5,100,000株
発行済株式総数	3,543,100株
株主数	1,066名

■大株主

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
菅野 松一	498,520	14.07
菅野 孝太郎	479,640	13.54
齋藤 高紀	364,870	10.30
菅野 光代	233,800	6.60
こころネットグループ従業員持株会	180,640	5.10
株式会社東邦銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行(株))	175,000	4.94
日本マスタートラスト信託銀行(株)	151,400	4.27
(株)福島銀行	135,000	3.81
齋藤 フヨ	74,830	2.11
野村信託銀行(株)	65,000	1.83

■所有者別株式分布状況

